

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2024年4月22日
第5号

自分からどんどん話しかける

2・2 島山佳貴

島山佳貴さんはショーンくん
の家にホームステイした。兄・
姉は大学生で家を出ていて、3
人家族で犬がいた。広い家で暮
らし、卓球やバスケットができ
るほどだった。お父さんはパソ
コンを使い、在宅勤務をしてい
るようだった。優しい家族で翻
訳アプリを使い、コミュニケーション
をとってくれた。食事は
外食が多く、あまり家で食事を
作って食べることはなかった。

今回の研修で印象に残ってい
るのは米国人のコミュニ
ケーション力の高さ
だ。知らない人ともす
ぐ仲良くなれるのはす

ごいと思った。一番の思い出は
お別れ会の後で生徒達だけで集
まったホームパーティー、瀧上
萌友さんのホスト宅に集まった
ことだ。

サウスバーリントン 短期語学研修報告③

誕生日にはトランポリンパ
ークへ連れて行ってくれた。



休日にはボストンの
水族館へ。



「紙飛行機」のプレゼン、
実際に飛ばして競った。



ホームパーティー
コスプレして楽し
ませてくれる人もいた。

心から優しくもてなしてくれた もっと英語の勉強を

2・2 須田志々和

須田さんのホストファミリー
も島に住んでおり、大塚くんの
ファミリーのすぐ近くに家があ
り、一緒にパーティーをするこ
とがあった。「すごい豪邸でマギー
と弟、ご両親の4人家族。とて
も優しく接してくれて過ごしや
すかった」という。

高校で一番印象に残っている
のは日本語クラスの人と一緒に
行った授業だ。ゲームなどをし
てコミュニケーションをとり、
親睦を深めることができた。

週末はホストファミリーにボ
ストンを観光案内してもらった。
「すごく都会で、地下鉄に乗り、



ボストンの街並み



たき火でマシュマロを焼いた。

水族館の見学やショッピングを
して楽しんだ。」

翻訳アプリよりも直接対話を

コミュニケーションではスマ
ホの翻訳アプリを使う場面が多
かったので、「もっと英語の勉
強をしておけばよかった」と振
り返る。

6時間かけて燻製チキンを

ホームパーティーではホスト
のお父さんが6時間かけて燻製



ホストのマギーは馬を飼っており、世話を
したり、乗馬の練習をしている。彼女も6
月に日本に来る予定だ。(写真右)

チキンを作ってくれるおもてな
しを受け、「とても美味しく、
心温まる思い出になった」と語っ
てくれた。



外国語クラスでのプレゼン
テーションの様子。瀧上萌
友さん、山谷愛花さんは
「染め物」について説明し、
実際に体験してもらった。



チャーストリートで昼にハ
ンバーガーを注文した。パン
ズと中身は別になっっている。
ボリュームがすごかった。